



# NPO法人Pass on 2022年度 活動報告

(2022年1月1日 ~ 2022年12月31日)

## マザーシェルター

アフリカの妊産婦さんたちが安心して出産をするための「待機場所」を建設し、心身ともに安心してもらう。

01

NPO法人Pass on のメインプロジェクトであるマザーシェルターの建設は法人設立当初より継続して実施しております。2021年度は土壌の開拓作業からはじめ、コンクリートを練り、レンガを組み立てる作業まで全てを行い、一つのマザーシェルターを建設いたしました。



(写真上: 中町代表自ら建設作業に加わりました。)

(写真下: 病院関係者へのハンドオーバーの式典。)

記念すべきPass on のマザーシェルター1棟目は2021年7月に建設を完了させ、ザンビア・ンドラ州にある病院敷地内に建設を完了させました。寄贈式典の際には病院関係者の皆様に喜んで頂き、地域の妊産婦の皆様より「安心して出産できる環境ができた。ありがとう。」のお言葉を頂きました。



カニヤマウェスト病院の施設内 BEFORE(左) / AFTER(右)

2022年度は新しい取り組み・方法として、「リフォーム式」のマザーシェルターの建設に取り組みました。

リフォーム式とは、すでにある病院施設の室内の壁面を綺麗にし、ベッドや椅子を新しいものにして、妊産婦さん達が待機する場所の衛生面の改善を図り、より安心して過ごせる場所を提供することにしました。

こちらは、ゼロから建設するマザーシェルターよりも完成する時間も早く、コスト面でも必要部分での修復費用となりましたので改善することができました。

2023年はリフォーム式・マザーシェルターの建設数を増やしていく予定です。



(カニヤマウェスト病院の看護師さんたちへのハンドオーバー)

## サッカーボールの寄贈 交流サッカー試合の開催

02

サッカーを一つのツールとして、アフリカの子供達の一人でも多くの笑顔を生み出す。

弊社のもう一つのメインプロジェクトでもある、サッカーボールの寄贈をさせて頂き、交流試合を実施し、両チーム共に公式戦と言わんばかりの激しい試合を繰り広げ、盛り上がりを見せました。

ザンビアではサッカーが大人気スポーツであり、多くの少年少女がサッカーが大好きです。中でも、女子サッカー代表はアフリカの中で上位に進出するほどのレベルであり、2020東京オリンピックにも出場し、2023年に開催されるW杯にも出場し、日本代表と対戦します。

プロサッカー選手の中町の登場に選手達も大喜びであり最初は緊張していましたが、一緒にボールを蹴ることで距離を縮めて楽しい時間を共有していました。



## 花育 ひまわりの種植え【サカタのタネ】

03

綺麗な花を咲かすためには、何をしなければならないのか、学びの場と一緒に考える。



協賛企業のサカタのタネ様より頂きました「ひまわりの種」をコンパウンドの土地に子供達と一緒に植えるイベントを実施しました。※コンパウンドとは”未計画居住地”の意味です。

スコップやクワを使い土を耕す作業から始め、綺麗になった土地にひまわりの種を一つ一つ丁寧に植えました。

どのような花が咲くのか、作業をしている時の子供達のワクワクとした笑顔に、一緒に作業をしていた中町も元気をもらいました。



